

令和5年度  
事業報告

## 令和5年度 公益財団法人黒部市吉田科学館 事業報告（総括）

公益財団法人黒部市吉田科学館振興協会は、市民の科学知識の普及及び文化の向上に資することを目的として、自然・科学を楽しみながら学ぶ事業を実施しています。

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症について、5月8日以降、その位置づけが2類相当の感染症から5類感染症となりました。これによりこれまでの一律の移動制限や接触制限がなくなりました。当科学館においても同様に、これまでの対策を緩和しました。具体的には、消毒液の設置は継続するものの、館内の展示物等の消毒は終了しました。マスク着用については、個人の判断としました。その結果、個別の事業で参加人数が減ったものもありましたが、全体としては来館者が増加傾向となりました。

令和5年度の主な事業として、夏と冬に企画展「すごい火山展」を開催しました。また、その連携講座として「わくわく！キッチン火山実験」を夏に行いました。沢山の方にご来場いただきました。プラネタリウム100周年記念事業として、プラネタリウムの仕組みを紹介するミニ展示や講演会、コンサートを実施しました。8月には、プラネタリウム観覧者数が50万人となり、黒部市長をお迎えしてセレモニーを実施しました。50万人目の方とその前後の方に記念品をお渡ししました。令和4年度のプログラミング教材の寄贈をきっかけとして、新たにプログラミング事業を開始したところではありますが、令和5年度も教材を寄贈いただきました。その教材を利用してデジタル社会への誘導や論理的思考を育むための、小学生を対象としたプログラミング教室等を開催しました。

また、事務局としては、令和6年度から5ヶ年の運営方針策定や令和6年度から3ヶ年の指定管理者申請を行いました。

令和5年度実績として、全ての事業を合わせた延べ利用者数は49,224名（前年度比112.6%）、来館者数は22,865名（前年度比118.9%）となっております。事業毎の延べ利用者数は増減ありますが、来館者数（カウンター数）は着実に増加しています。今後も引き続き観光や他館との連携や創意工夫により、来館者に満足していただける科学館を目指してまいります。

# 令和5年度（2023年度）黒部市吉田科学館事業報告

## 1. 黒部市吉田科学館の基本方針

- (1) 楽しみながら自然と科学技術に対する関心と理解を深める場を提供する
- (2) 自然の不思議に感動し、創造や発見の喜びを知る場を提供する
- (3) 誰もが楽しめる科学・文化活動の場を市民\*と共につくる
- (4) 幅広く外部と協力し、地域学習・探究活動を支援する
- (5) 科学博物館として持続可能な地域づくりに貢献する

※市民：黒部市民に限らず広く同じ目的を持つ同志を意味する。

## 2. 事業コンセプト

「体で学ぶ科学館」をテーマとし、科学館職員が来館者に接することによって科学に基づいた知識を伝える。以下、3テーマについて業務を展開する。

内容	フレーズ	目的
日常の科学	作ってみよう	科学及びモノづくりに対する興味・関心を高める
地域の科学	行ってみよう	地域の自然と文化についての愛着と理解を深める
宇宙の科学	のぞいてみよう	天文学と宇宙技術への興味・関心を高める



## 3. 令和5年度（2023年度）の主な事業内容

### ・ 企画展「すごい火山展」

(7月15日～9月3日、12月2日～翌年2月18日)

### ・ プラネタリウム100周年記念事業

近代的光学式プラネタリウムの公開から100周年を記念して、日本各地のプラネタリウムで数々のイベントが行われた。当館でも、プラネタリウムの歴史に関する講演会や、リニューアル前の機器の展示、工作など多数のイベントを行った。さらに、当館のプラネタリウム観覧者が50万人に達成したことを記念し、50万人目の来館者やその前後の来館者に記念品を贈呈した。

## (1) 日常の科学

### ① 講座体験事業

#### ・ サイエンスショー（常時開催）



「熱のふしぎ」実演風景

来館者を対象に当館エントランスホールにて、日常生活に関わりの深いテーマを楽しく解説する実験ショーを開催した（平日1回、土日祝日2回、毎回15～20分程度）。

今年度は「もののふしぎ」（4月）、「水のふしぎ」（5～8月）、「熱のふしぎ」（9～12月）、「力と運動のふしぎ」（1～3月）の計4つのテーマをもとにサイエンスショーを展開した。実演終了後、詳しく実験内容を聞きに来る参加者の姿がしばしば見受けられた。

#### ・ 団体用工作教室



「プラカップごま」と「惑星キーホルダー」

保育園、小学校等の遠足、校外学習のプログラムの一つとして、工作教室を実施した。

今年度は、所要時間20分～1時間で8種類の工作から選んでもらい、「プラカップごま」の4団体、「惑星キーホルダー」4団体の計8団体で実施した。

対象年齢を考慮した工作の選択肢を用意したことで、子どもたちから完成の達成感を感じられ、喜びの声が聞かれた。

### ② 展示事業

#### ・ 児童生徒作品展示会の実施

市内小中学校の児童・生徒が、夏休みに制作した発明くふう作品、自由研究作品の展示会を9月から10月にかけて開催した。暮らしを便利にするための工夫をこらした作品や、長年の研究の成果をまとめた研究作品などが展示された。



写真左：第18回少年少女発明くふう展  
（出品数 95点）

写真右：第18回黒部市小・中学校児童生徒科学作品展覧会  
（出品数 53点）

## (2) 地域の科学

### ① プラネタリウムドーム事業

#### ・ 立山黒部ジオパーク映画「<sup>けん</sup>剣の山」



プラネタリウムでは、立山黒部ジオパーク映画「<sup>けん</sup>剣の山」を上映している。また、市内全小学校の6年生に対し、地元の自然について学ぶ機会を設けるため、学習投映を実施した。上映前にはジオパークについて職員が解説した。児童の学習効果を調査するために、視聴前に回答する事前アンケートと、視聴後1か月後に回答する事後アンケートを実施した。多くの児童の回答において、視聴後1か月後の時点で、大地の変化や、湧き水のしくみに対する理解度が視聴前より深まっている傾向が見られ、称名滝やプレート運動の描写が児童の印象に残っていることがわかった。

剣の山学習投映 8回 児童 240名 大人 13名

### ② 講座・体験事業

#### ・ ジオ&みずはくツアーの実施



写真：ジオ&みずはくツアー  
「扇状地の成り立ちを知ろう」(9月10日実施)

黒部川扇状地を巡る「ジオ&みずはくツアー」を実施した。本ツアーでは、地域学芸員（市民ガイド）と共に、黒部川扇状地の名所を巡り、参加者に扇状地での水のはたらきや、大地の成り立ち、歴史について体験してもらった。令和5年度は、季節やテーマに合わせて全5回実施した。自然や文化に関心を持つ参加者が多く、熱心に質問する様子が見られた。

#### ・ ジオパーク体験講座・フィールドウォッチング



写真：ジオパーク体験講座  
「生地の魚に親しもう」(8月12日実施)

立山黒部ジオパークの普及事業の一環として、「ジオパーク体験講座」を実施した。生き物、石、雪など、各回で異なるテーマを設定した。自然の観察や遊びを通して参加者に立山黒部ジオパークの自然を体験させた。令和5年度は、屋内のみで体験できる「岩石鑑定にチャレンジ」を3回程度行い、リピーターも何名も見られた。「生地の魚に親しもう」では、特定外来生物のカダヤシが発見され、外来生物を学ぶ機会にもなった。

### ③ 調査研究事業

#### ・ スマートホームデバイスを用いた展示手段の開発

館内の Wi-Fi 環境が整備されたため、企画展の毎日のセット作業にスマートホームデバイスを用いて、照明の点灯やプロジェクターでの映像出力などを自動制御できるよう試みた。複雑なセット作業が簡略化されるため、今後は本手段を利用し様々な展示を考えたい。

#### ・ 外来生物調査

ジオパーク体験講座「生地の魚に親しもう」で特定外来生物のカダヤシが 2 匹捕獲された。詳細な情報を調べるため、追加調査を行い、カダヤシを 3 匹捕獲できた。捕獲したカダヤシを標本として保存した。



ジオパーク体験講座で捕獲されたカダヤシ



追加調査で捕獲されたカダヤシの液浸標本

#### ・ 触察模型の教材開発（協力：大学入試センター 南谷教授、新潟大学 渡辺教授）

令和 6 年 2 月 3 日に開催されたオンラインシンポジウム「全国模型巡り」に向けて、目の不自由な方でも触って楽しめる教材の開発を行った。講演では、当館の 3D プリンターを用いた地形模型の事例紹介をし、視覚に障害のある全国の方に月面地形の紹介を行った。講演後、視覚障害の当事者や、その支援者の方から、問い合わせや来館があった。また、明石市立天文学館や国立天文台主導の「宇宙をさわるプロジェクト」のミーティングにも参画した。



月面のアポロ 11 号着陸地点と SLIM 着陸地点の触察模型



木星の触察模型

#### ・ 学会発表

3D モデルを用いた取り組みについて、天文教育研究会（岡山県）、地学教育学会全国大会（滋賀県）、JPA 北陸プラネタリウム WG（当館開催）で発表した。

### (3) 宇宙の科学

#### ① プラネタリウムドーム事業

##### ・ サブスクリプションの投映番組

幼児や小学生を対象にした子ども向け番組、一般向けの科学番組など幅広い年齢層に合わせた番組を年間6本投映した。

「それいけ！アンパンマン ～ちびおおかみと月のふしぎ～」(幼児向け)

期間：令和5年4月1日～令和6年3月31日

内容：月の満ち欠けについての話題や、月に関するクイズや昔話を通して、幼児から天体に親しめる番組。1年を通じて安定して親子連れの観客が訪れた。



「プラネタリウム

ちびまる子ちゃん 南十字星に魅せられて」(小学生向け)

期間：令和5年7月1日～12月28日

内容：南十字星をテーマに南半球の星空を紹介し、地球上の場所によって観察できる星が違うことを楽しみながら学べる番組。キャラクターの人気度が高く、多くの観客に見ていただいた。



「ナットのスペースアドベンチャー」(小学生向け)

期間：令和5年4月1日～6月30日

内容：1969年、アポロ11号に潜り込んだハエの子どもたちと一緒に、人類初の月面着陸を体験できる番組。



「銀河鉄道999 赤い星ベテルギウス いのちの輝き」(一般向け)

期間：令和5年4月1日～6月30日、10月1日～令和6年3月31日

内容：冬の星座の代表格であるオリオン座の恒星ベテルギウスをテーマに、恒星の誕生から終わりまでを圧巻のCG映像で描いた番組。

※監督は「剣の山」の上坂浩光氏



「地球発、宇宙の彼方へ ～未体験スペースツアーへの招待～」(一般向け)

期間：令和5年7月1日～9月30日

内容：地球を飛び立ち、月や火星、さらに太陽系から銀河系へ。宇宙の広がりを感じられる番組。

「プラネットツアーズ 太陽系 驚異の気象」(一般向け)

期間：令和6年1月5日～3月31日

内容：太陽系の惑星で繰り返られる様々な気象を研究成果に基づきCGで再現。地球以外の惑星について学べる番組。



## ・ その他の放映番組

オリジナル番組「宇奈月の大蛇伝説」「ムーン・ツアーズ」「ねこのエマ脱走中」(再放映)

立山黒部ジオパーク映画「剣の山」(通年放映)

「今夜の星空と3D宇宙体験」(職員生解説番組・通年放映)



## ・ 学習放映

幼稚園・保育所、小・中学校の理科教育の一環として学習放映を行った。小学4年生、中学3年生の学習放映では、学習指導要領に基づいた内容を職員の生解説で放映し、幼児放映では、夏の星空や七夕に関する物語を解説した。

特に小学4年生の放映では、市内理科担当教諭との事前研修会や、小学校教育研究会魚津ブロック理科部会の研修会を設けていただき、放映内容の検討や各校の要望などを取り入れ、内容の充実に努めた。

実績	幼稚園・保育所	幼児放映	1回(1校)
	小学4年生	学習放映	22回(24校、そのうちサイエンスショー見学11校)
	中学3年生	学習放映	4回(2校)

## ② 講座・体験事業

### ・ 天文教室の実施

月1回の天文教室のほか、天体望遠鏡の操作を学ぶ教室を実施した。常連の参加者が多く、ほぼ昨年並みの参加者数となった。次年度は新規の方も参加しやすいようにコロナ禍前の募集方法に戻し、事前申込み制と定員制を解除したい。

## ③ 調査研究事業

### ・ プラネタリウム番組制作ソフトの活用

小学4~6年を対象とした星空プログラミング(2日間)、県内高等学校フィールドワーク(1日間)として、プラネタリウム番組制作と発表会を行い、短い制作時間にもかかわらず全員が発表できる段階まで番組を完成させることができた。

その一方で、ある程度の番組ができた時点で興味を失ってしまう参加者もあり、向上心を喚起する指導や、魅力的なカリキュラムを整備する必要も感じられた。また、対象年齢に合わせて、さらに高度な番組制作にも対応できるようにしていきたい。



星空プログラミングのテキスト



ドームでの発表風景

#### (4) 特別事業

##### ① 企画展「すごい火山展」

～宇奈月温泉開湯 100 周年記念～

(7月15日～9月3日、12月2日～2月18日)

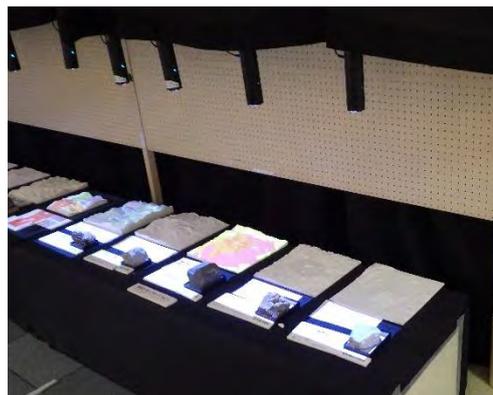
企画展では、「火山」をテーマとし、火山の噴出物の実物や地形模型などの試資料 37 点と、解説パネル 10 点を展示した。展示は、ハンズ・オン型の展示を中心としており、自由に標本を手にとって観察できるものとした。また、10 個の地形模型に、それぞれ 1 台ずつプロジェクターを設置し、地質図や航空写真をプロジェクションする試みを行った。プロジェクターの制御にはスマートホームデバイスを用いて制御した。

7月15日～9月3日の土日祝日については、水博物館の地域学芸員による実演を行った。本実演を目的とした来館者も見られ、アンケートでの評価も高かった。

また、連携イベントとしては、身の回りの素材で火山噴火に関する様々な現象を再現する「キッチン火山実験」や、富山大学の石崎教授による講演会「富山の火山研究の最前線」を行った。キッチン火山実験では家族連れでの参加が多く、講演会では大人の参加がほとんどであったため、幅広い年齢層の来館を促すことができた。



噴出物の展示コーナー



地形模型のプロジェクション



講演会の様子

##### ② プラネタリウム 100 周年記念事業

2023 年はプラネタリウム誕生から 100 周年の年であり、当館でもプラネタリウムに関連したイベントを多数開催し、プラネタリウムの魅力発信、プラネタリウムファンの増加に努めた。

##### ・ 特別講演会「プラネタリウムは宇宙への窓 プラネタリウムの誕生と進化の歴史」

元国立天文台専門研究職員の伊東昌市氏（黒部市出身）を講師に招き、プラネタリウムの歴史についての講演や「Mitaka」の投映をしていただいた。講演後には、熱心に講師に質問する来場者の姿も見られた。



特別講演会「プラネタリウムは宇宙への窓」

#### ・ プラネタリウム 100 周年ミニ展示

プラネタリウムの歴史や投映機の仕組みの解説するパネル展示のほか、リニューアル前の投映機の部品等も展示した。旧操作卓はスイッチやボリュームに触れることができるように展示し、操作の感触を確かめる来館者が多く見られた。



プラネタリウム 100 周年ミニ展示

#### ・ プラネタリウムコンサート「星と音楽の夕べ」

滝沢卓氏を中心とするバンドのコンサートを開催した。演奏に合わせて、滝沢氏が撮影した科学館上空から見た夜景（全天周ドローン映像）も投映した。



科学館上空の全天周ドローン映像

#### ・ ミニプラネタリウム工作（夏休み）、プラネタリウム操作体験（科学館ウィーク）

紙コップを使ったミニプラネタリウムの工作や、プラネタリウムを実際に操作できる体験会を開催した。

#### ・ 星空プログラミング in 黒部

小学 4～6 年を対象に、プラネタリウム番組制作と発表会を行う教室を開催した。



プラネタリウム観覧者 50 万人達成イベント

#### ・ プラネタリウム貸し切りプラン

1 日 1 組限定のプラネタリウム貸し切り投映を冬期（12 月～1 月）の週末に行なった。4 組の申込みがあり、投映後のアンケート結果は好評であった。

#### ・ プラネタリウム観覧者数 50 万人達成イベント

8 月 19 日（土）の投映にて 50 万人を達成した。50 万人目の観覧者には旅行券、前後賞にはホームプラネタリウムを進呈した。

### ③ 科学の祭典（第 30 回面白科学実験 in 富山 黒部大会）

県内 4 か所を巡回しながら行っているイベントで、令和 5 年度は当館が会場館となった。県内外の理科教員や理科部などの参加のほか、企業や博物館関係者にも参加していただき、科学工作に関するブース出展やサイエンスショーを多数実施した。当館からは、「石の神経衰弱にチャレンジ！」と「プラネタリウムバックヤードツアー」を出展した。



科学の祭典の様子

#### ④ 科学館ウィーク☆2023

(11月18日～11月26日実施)

科学館の3つのコンセプトをテーマに、イベントを開催した。期間中は、オリジナルプラネタリウムの特別投映や、ワークショップ、スタンプラリー、じゃんけん大会などを実施した。外部団体と連携しながら、数多くのイベントを開催することができた。長尾年恭氏を講師に迎えた特別講演会「関東大震災から100年巨大地震列島の今を知る」では、能登半島の群発地震や防災に関する解説もあった。



外部団体による工作の様子

#### ⑤ 連携事業

##### ・ 他施設との連携事業

魚津埋没林博物館と黒部市美術館と連携し、「Eバイクでしんきろう！」を開催した。Eバイクで魚津埋没林博物館を出発し、蜃気楼と「地球の丸さ」の観察をしながら、吉田科学館へ向かった(2部制のイベントとし、第2部は逆の行程で行った)。蜃気楼は見えなかったが、地球の丸さがよくわかり、参加者に好評であった。



Eバイクでしんきろう！の様子

日本黒部学会と連携し、平野巡検「稲村の海底地すべり露頭見学」を開催した。見学地の都合上、黒部学会やジオパーク協会関係者のみの参加となったが、現地で議論を行い、見識を深めるきっかけとなった。



平野巡検  
「稲村の海底地すべり露頭見学」の様子

そのほか、黒部市国際文化センター「コラーレ」の「ワールドフェスティバル」との連携イベント「モンゴルの星空の物語」や、黒部市博物館等施設とスタンプラリーを実施した。今後も他施設、他団体との連携事業を開催していきたい。

#### ⑥ 課外授業の受け入れ

県内高等学校のフィールドワークの一環として、プラネタリウム番組制作及び天体望遠鏡操作実習の研修を実施した。プラネタリウム番組制作では、グループごとに番組テーマを決めて制作を行い、プラネタリウムドームで成果発表を行なった。研修の後半では、望遠鏡の操作を室内で実習し、さらに屋外で昼間の月を観察した。高校では地球以外の天体や宇宙について学ぶ機会が少ないので、これを機に宇宙に興味を持つ学生が増えてくれることを願う。



プラネタリウム番組作成の様子

## ⑦ インターネットを使った動画配信

### ・ 「七夕講演会」のライブ配信

7月の「たなばたのよりに 星空の彼方への憧れ」では、ステージだけでなく、プラネタリウムドームに投射している星空や天体写真を高感度広角カメラで撮影し、会場で見ているかのような映像をライブ配信した。(視聴回数：181回)



「七夕講演会」のライブ配信画面

### ・ 「地球は丸い」のテスト配信

生地海岸から対岸の新湊大橋などを観察することで、地球の丸さを体感する実験を限定公開でライブ配信した。令和6年度にライブ配信事業を予定している。

## ⑧ 事務局運営

### ・ 職員研修

2月末に魚津埋没林博物館および魚津水族館を視察し、各施設の学芸員に展示解説をしていただいた。魚津埋没林博物館では、埋没林の実物展示の工夫や、蜃気楼のライブ配信機材も見せていただいた。また、魚津水族館では、魚の生息環境も含めた生態展示に苦心していることなどをお聞きした。展示方法や解説の仕方など、今後の展示事業の参考となった。



魚津埋没林博物館の視察の様子

# 令和5年度 黒部市吉田科学館 実績報告

日常の科学対象事業 ※自／共…自主事業、共催事業の略

事業名	期間	自/共	内容	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	前年比
講座 体験学習事業	通年	自	工作教室(学校行事等の利用)	12回 240人	18回 371人	20回 397人	107.0%
	3/28	自	折り紙ヒコーキ工作教室&競技会			1回 57人	—
	通年	共	黒部少年少女発明クラブ	17回 134人	18回 197人	19回 190人	96.4%
	通年	共	あこやへのDE体験の風をおこそう!(あこやへの主催)		1回 632人	2回 271人	42.9%
サイエンスショー	通年	自	もののふしぎ/水のふしぎ/熱のふしぎ/力と運動のふしぎ	243回 4,275人	259回 3,550人	269回 4,139人	116.6%
	通年	自	プログラミング教室			5回 43人	—
プログラミング	通年	共	CoderDojo黒部			24回 386人	—
	展示	6/24~7/2	共	魚津地区・理科自由研究・発明くふう参考展	1回 837人	1回 634人	1回 868人
展示事業	9/8~9/18	共	黒部市少年少女発明くふう展	1回 885人	1回 990人	1回 882人	89.1%
	9/23~10/3	共	黒部市小・中学校児童生徒科学作品展覧会	1回 582人	1回 928人	1回 744人	80.2%
	のべ利用者数合計				6,953人	7,302人	7,977人

## 地域の科学対象事業

事業名	期間	自/共	内容	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	前年比
講座 体験学習事業	通年	自	ジオパーク体験講座	5回 73人	6回 90人	10回 128人	142.2%
	通年	自	ジオ&みずはくツアー2023	5回 60人	5回 84人	5回 77人	91.7%
	6/21-12/10・2/23	自	岩石・鉱物標本公開		3回 15人	3回 15人	100.0%
	9/30	自	黒部川調査隊		2回 13人	1回 4人	30.8%
	6月~8月	共	くろべ水の少年団	4回 54人	5回 80人	6回 133人	166.3%
展示事業	~4/9・2/23~3/24	共	巡回写真展「富山県ナチュラリスト協会写真展」	1回 1,297人	2回 1,283人	2回 1,633人	127.3%
	10/28~11/26	共	環境写真展「すばらしい自然を…」	1回 2,327人	1回 2,825人	1回 1,960人	69.4%
令和3年度/令和4年度				自然写真愛好会・美写者写真展「すばらしき朱鷺・動物写真展」	1回 2,259人	1回 1,394人	
				自然写真愛好会・美写者写真展「花鳥風月と富山の水」展	1回 984人	1回 597人	
のべ利用者数合計				7,054人	6,381人	3,950人	61.9%

## 宇宙の科学対象事業

事業名	期間	自/共	内容	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	前年比	
プラネタリウム ドーム事業	一般投映および学習投映など(投映日数:267日) (大人:6,454人 高校・大学生:171人 子供:7,607人 合計:14,232人)			532回 12,667人 111,000円 観覧料 1,195,770円	617回 11,874人 91,800円 観覧料 1,090,280円	679回 14,232人 155,100円 観覧料 1,349,610円	119.9%	
	計				1,306,770円	1,182,080円	1,504,710円	127.3%
	プラネタリウムの投映	通年	自	◆一般投映	11,619人	10,845人	13,156人	121.3%
		通年	自	子ども番組	136回 5,638人	198回 4,998人	333回 8,318人	166.4%
		通年	自	科学番組	68回 1,402人	30回 662人	105回 1,216人	183.7%
		通年	自	ヒーリング番組	26回 495人	51回 953人		
		通年	自	オリジナル番組	118回 1,898人	132回 1,455人		
		通年	自	オリジナル再番組	64回 581人	70回 600人	94回 1,656人	276.0%
		通年	自	職員生解説番組	49回 840人	63回 1,413人	67回 1,313人	92.9%
		通年	自	立山黒部ジオパーク映画「剣の山」	36回 655人	39回 490人	43回 468人	95.5%
		12/1~	自	貸切プラン			4回 19人	—
		11/18~19	自	オリジナルプラネタリウムフェスティバル	8回 110人	7回 274人	6回 166人	60.6%
	通年	自	◆学習投映(小学4年生)	17回 563人	22回 661人	22回 696人	105.3%	
	通年	自	◆学習投映(中学3年生)	4回 362人	4回 349人	4回 349人	100.0%	
	通年	自	◆幼児投映	6回 123人	1回 19人	1回 31人	163.2%	
プラネタリウムの多目的利用	7/30	自	爆笑!星兄プラネタリウムショーin黒部		2回 263人	2回 241人	91.6%	
	8/23	自	ベビーといっしょにほしぞらさんぽ	2回 52人	1回 86人	2回 68人	79.1%	
	11/23	自	熟睡プラ寝たリウム	1回 17人	2回 115人	2回 58人	50.4%	
	11/25	自	星と音楽の夕べ			1回 51人	—	
	3/9・10	自	コラーレワールドフェスティバル連携企画癒しのプラネ「モンゴルの星空の物語」	1回 33人	3回 127人	2回 38人	29.9%	
講座 体験学習事業	第3土曜日	自	天文教室	10回 215人	12回 304人	12回 297人	97.7%	
	8/5	自	初めての天体望遠鏡教室	1回 25人	1回 21人	1回 31人	147.6%	
	8/9	共	名水の里くろべこども自然体験村(黒部市)		1回 69人	1回 76人	110.1%	
	10/15	共	星空トロッコ	1回 42人	1回 35人	1回 37人	105.7%	
のべ利用者数合計				13,051人	12,894人	15,129人	117.3%	

特別行事など

事業名	期間	日/共	内容	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	前年比			
企画展	7/15～9/3・12/2～2/18	自	企画展「すごい火山展」			2回	9,698人			
企画展連携講座	8/9	自	企画展連携講座「わくわく！キッチン火山実験」			1回	32人			
展示	4/15～6/30	共	全国科学館連携協議会巡回展示「かるたでよみとくわたしと世界のつながり」			1回	5,125人			
講演会	7/8	自	講演会「たなばたのよるに」星空の彼方への憧れ			1回	80人			
	8/27	共	講演会「富山の火山研究の最前線」			1回	39人			
	11/11	自	特別講演会「プラネタリウムは宇宙への窓」			1回	30人			
工作	8/6	共	青少年のための科学の祭典 第30回おもしろ科学実験in富山		1回	57人	1207.0%			
	11/3	共	立少フェスティバル(クラフト工作)			1回	150人			
GWイベント	5/3～4	自	カップゴマをつくろう			2回	277人			
	5/3	共	JAFイベント		1回	189人	230.2%			
	5/5	共	竹の知恵の輪をつくろう			1回	84人			
	5/6	自	星座早見盤をつくろう		1回	59人	116.9%			
お盆イベント	5/6～7	共	割りばしハガキグライダーで遊ぼう	1回	167人	2回	142人	226.8%		
	8/13	自	ミニプラネタリウムをつくろう			1回	90人			
科学館ウィーク	8/14～15	共	プラ板ストラップづくり			2回	217人			
	11/18・19	自	プラネタリウム操作してみる？		1回	23人	2回	39人	169.6%	
	11/19	共	特別講演会「関東大震災から100年巨大地震列島の今を知る」			1回	17人			
	11/23	共	この木何の木？木の名札を作ろう！		1回	8人	1回	18人	225.0%	
	11/25・26	共	オリジナルバスボムづくり			2回	447人			
	11/25/26	共	ウェルカムプレートづくり(GWイベント含む)		3回	492人	2回	447人	90.9%	
その他	11/26	自	じゃんけん大会			1回	124人			
	11/18～26	共	わくわくスタンプラリー	1回	486人	1回	385人	1回	388人	100.8%
	9/17	自	くろべフェア ジオサイエンスショー「火山のふしぎ」			2回	15人	1回	20人	133.3%
	6/21	自	くろべフェア 展示ブース			2回	214人	1回	171人	79.9%
	11/4	共	平野の巡検「上市町稲村の海底地すべり堆積物」				1回	7人		
	1/14	共	黒部川・水のコンサート&フェスティバル				1回	100人		
令和3年度/令和4年度	3/23～24	自	星空プログラミングin黒部			2回	10人			
	3/30	共	「Eバイクでしんきろう！インフィニティ〜ミラージュ」			1回	5人			
			企画展「地図のつくりかた」～伊能図完成から200周年～	1回	7,210人					
			「ナマステ！インドアッチャー！アーチェリー」展	1回	2,469人					
			講演会「世界は立山黒部とつながっている～とくにインド・ヒマラヤとの共通性～」	1回	25人					
			中垣哲也写真展「オーロラに逢いここう」	1回	5,397人					
			ミニ展示「くらべえみよう！黒部の鉄道」	1回	2,200人					
			地球ゴマ	2回	196人					
			ペンハムのコマづくり	2回	70人					
			黒部市美術館関連企画「宇宙の中のインフィニティ」	1回	8人					
			コーレ連携企画「癒しのプラネアルゼンチンの星空の物語」	2回	52人					
			お楽しみ抽選会	1回	516人					
			オリジナル石けんづくり/ウェルカムボードづくり	2回	984人					
			石ころマップをつくろう	1回	56人					
			クリスマスリースをつくろう	1回	80人					
			特別展「ふしぎな地図展」			2回	7,569人			
			特別展連携講座「地球の「丸さ」を体感しよう」			1回	9人			
			平野巡検「地球は丸い、富山湾も丸い」			1回	8人			
			講演会「黒部のジルコン大活躍」			1回	12人			
			講演会「ロマンティックプラネタリウム たなばたのよるに」			1回	38人			
			おおきな松ぼっくりでクリスマスツリーをつくろう			1回	36人			
			ミニ門松づくり			1回	24人			
			傘袋ロケットづくり			1回	66人			
			カブトムシの幼虫プレゼント			1回	150人			
			プログラミング体験教室			7回	62人			
			「6×6(ろくろく)パズル」			2回	52人			
			「バードコール」			1回	120人			
			YKKツアーリスト企画 日帰りプラン(購入のみ)			1回	2,474人			
			おおきな提灯づくり&黒部の魚塗り絵			1回	83人			
			オーロラ上映&トークライブ			2回	238人			
			月面のクレーターで遊ぼう			3回	31人			
			まつぼっくりでミニクリスマスツリーづくり			1回	132人			
		紫外線ビーズストラップづくり			1回	58人				
		オリジナル温度計づくり			1回	75人				
		ペットボトルキャップケーキづくり			2回	384人				
		ビンゴ大会			2回	259人				
		雪遊びを楽しもう！(前沢公民館)			1回	28人				
のべ利用者数合計				19,916人	13,492人	19,129人	141.8%			

事業名	内容	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	前年比
その他	各部屋の利用等	2,283 人	3,657 人	3,039 人	83.1%
のべ利用者数合計		<b>2,283 人</b>	<b>3,657 人</b>	<b>3,039 人</b>	<b>83.1%</b>

(参考) オンライン事業 視聴回数報告

実施年度	内容	視聴回数	合計
令和5年度	7/8 七夕講演会ライブ中継	181 回	181 回
令和4年度	11/6 皆既月食ライブ中継	1,527 回	1,941 回
	7/7 七夕講演会ライブ中継	414 回	
令和3年度	天文教室ライブ中継(2回)	2,350 回	2,707 回
	サイエンスショー紹介動画(9本)	357 回	
令和2年度	剣の山無償公開	13,230 回	14,821 回
	オリジナルプラネタリウム番組無償公開	178 回	
	科学館紹介動画公開(3本)	373 回	
	サイエンスショー紹介動画(4本)	1,040 回	
のべ利用者数合計		<b>19,469 回</b>	<b>19,469 回</b>

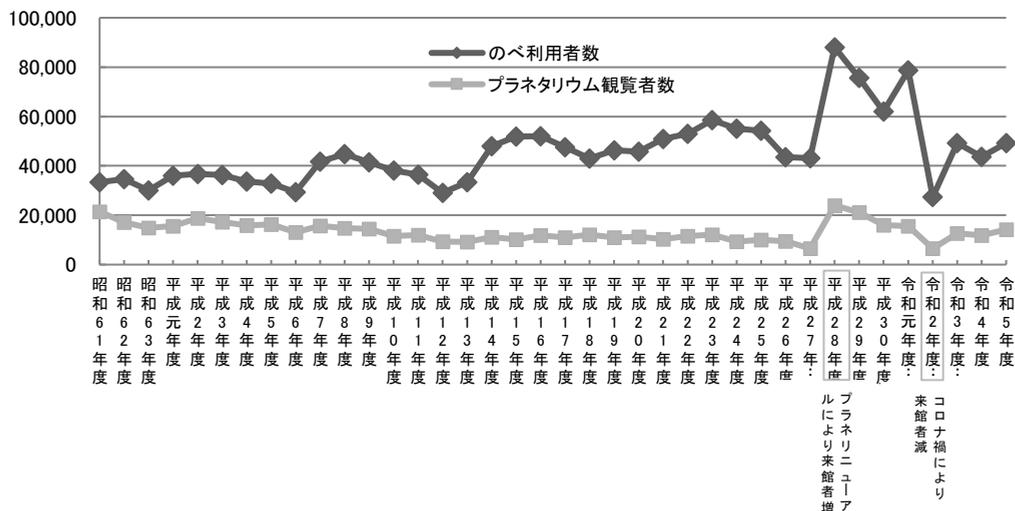
各年度利用者数比較

	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	前年比
日常の科学対象事業	10,054 人	7,481 人	6,953 人	7,302 人	7,977 人	109.2%
地域の科学対象事業	8,668 人	3,378 人	7,054 人	6,366 人	3,950 人	62.0%
宇宙の科学対象事業	17,690 人	7,006 人	13,103 人	12,894 人	15,129 人	117.3%
特別事業	34,626 人	7,392 人	19,864 人	13,507 人	19,129 人	141.6%
その他事業	7,624 人	2,106 人	2,283 人	3,657 人	3,039 人	83.1%
のべ利用者数計	78,662 人	27,363 人	49,257 人	43,726 人	49,224 人	112.6%
カウンター数 (来館者数)	<b>30,375 人</b>	<b>11,443 人</b>	<b>17,833 人</b>	<b>19,230 人</b>	<b>22,865 人</b>	<b>118.9%</b>

# 年度別のべ利用者数・観覧料

令和6年3月31日現在

年度	のべ利用者数	プラネタリウム観覧者数	観覧料
昭和61年度	33,373 人	21,449 人	2,534,760 円
昭和62年度	34,682 人	17,110 人	1,912,660 円
昭和63年度	30,121 人	14,853 人	1,735,050 円
平成元年度	36,053 人	15,582 人	1,736,390 円
平成2年度	36,783 人	18,768 人	1,815,630 円
平成3年度	36,359 人	17,200 人	1,889,240 円
平成4年度	33,644 人	15,868 人	1,777,740 円
平成5年度	32,871 人	16,262 人	1,969,790 円
平成6年度	29,366 人	13,106 人	1,643,780 円
平成7年度	41,719 人	15,700 人	2,828,590 円
平成8年度	44,777 人	14,695 人	2,619,250 円
平成9年度	41,504 人	14,426 人	2,461,120 円
平成10年度	38,144 人	11,554 人	2,008,150 円
平成11年度	36,511 人	11,949 人	1,840,800 円
平成12年度	29,068 人	9,365 人	1,494,100 円
平成13年度	33,355 人	9,264 人	1,380,130 円
平成14年度	47,963 人	11,131 人	1,243,230 円
平成15年度	51,829 人	10,188 人	1,131,060 円
平成16年度	51,968 人	11,780 人	1,308,510 円
平成17年度	47,581 人	10,989 人	1,184,940 円
平成18年度	42,987 人	12,055 人	1,278,840 円
平成19年度	46,363 人	11,021 人	1,161,270 円
平成20年度	45,745 人	11,252 人	1,156,490 円
平成21年度	50,913 人	10,297 人	1,099,110 円
平成22年度	52,937 人	11,515 人	1,275,300 円
平成23年度	58,520 人	12,171 人	1,448,160 円
平成24年度	55,131 人	9,287 人	1,015,470 円
平成25年度	54,252 人	10,081 人	1,075,710 円
平成26年度	43,574 人	9,414 人	1,129,050 円
平成27年度(12月～3月プラネタリウム休止)	43,184 人	6,547 人	695,280 円
平成28年度	88,083 人	23,997 人	1,984,410 円
平成29年度	75,630 人	21,182 人	2,178,210 円
平成30年度	62,027 人	16,005 人	1,783,260 円
令和元年度(2/29～3/31プラネタリウム休止)	78,662 人	15,626 人	1,556,010 円
令和2年度(4/1～5/20プラネタリウム休止)	27,363 人	6,508 人	613,270 円
令和3年度(8/18～9/13・1/24～2/28プラネタリウム休止)	49,257 人	12,667 人	1,306,770 円
令和4年度	43,726 人	11,874 人	1,182,080 円
令和5年度	49,224 人	14,232 人	1,504,710 円
合計	1,735,249 人	506,970 人	59,958,320 円
令和4年度	43,726 人	11,874 人	1,182,080 円
令和5年度	49,224 人	14,232 人	1,504,710 円
前年度比	112.6 %	119.9 %	127.3 %



## 令和5年度 研修派遣等報告

### ▼学会・研究会発表

月日	内容	主催	担当職員
5/21	JpGU Meeting 2023(千葉) わくわく感を伝える バーチャル・ジオツアーの実践	日本地球惑星科学連合	國香
8/20	第37回天文教育研究会(岡山) 3Dプリンターを用いた星図作製の技術開発	日本天文教育普及研究会	野寺
8/25	日本地学教育学会第77回全国大会(滋賀) 科学館における3Dモデルの作成とそのオープンデータ化の実践	日本地学教育学会	野寺
11/19	令和5年度日本黒部学会 研究例会(黒部) 地球は丸い、富山湾も丸い(第3報)	日本黒部学会	國香
3/4	JPA北陸プラネタリウムWG令和5年度第2回研修会(黒部) ウェルカム投影、事業紹介など	日本プラネタリウム協議会	村井・中瀬・野寺

### ▼講師派遣・事業協力

月日	内容	主催	担当職員
5/16	プラネタリウムを活用した現地研修会 講師派遣	小学校教育研究会魚津ブロック	村井・中瀬
5/27	ジオガイドスキルアップ講座	立山黒部ジオパーク協会	野寺
-	広報誌「ぶんか」学芸員リレーコラム「私のイチオシ！」執筆	富山県民会館	野寺
8/9	「名水の里 くろべこども自然体験村」星空解説 講師派遣	くろべ都市農村交流実行委員会	村井・野寺
8/22	高等学校フィールドワーク(プラネタリウム番組制作体験) 講師派遣	富山県立入善高等学校	村井・中瀬
9/22	「総合的な学習の時間」への協力(清水巡り)	黒部市立村椿小学校	長谷川
10/15	星空トロッコ	黒部峡谷鉄道株式会社	村井・野寺
11/12	黒部川の謎を探ろう！パンダ石観察	親子わんぱく自然教室	野寺
2/3	「日本全国模型巡り(2)触れて知ろう！宇宙への挑戦」	大学入試センター	野寺

### ▼連携事業

月日	内容	連携団体
7/22-9/3	黒部市6館スタンプラリー	黒部市博物館等施設連絡協議会
8/27	企画展連携講演会「富山の火山研究の最前線」	日本黒部学会
11/4	平野巡検「稲村の海底地すべり露頭の見学」	日本黒部学会
11/19	特別講演会「関東大震災から100年 巨大地震列島の今を知る」	日本黒部学会
3/9・3/10	黒部市国際文化センター コラーレ「ワールド・フェスティバル」連携企画 癒しのプラネタリウム「モンゴルの星空の物語」	黒部市国際文化センターコラーレ
3/30	Eバイクでしんきろう！	魚津埋没林博物館・黒部市美術館

▼教職員・学生研修受入

期間	研修名	氏名(所属学校名)
8/19-20	令和5年度中堅教諭等資質向上研修における社会体験研修	1名受入
9/26-27	社会に学ぶ『14歳の挑戦』事業	2名受入

▼行政官庁許認可報告事項

許認可報告年月日	許認可報告先	許認可報告事項
令和5年6月30日	富山県知事	令和4年度事業報告及び収支決算届
令和5年9月7日	富山県知事	事業の追加による変更届
令和6年3月31日	富山県知事	令和5年度事業計画及び収支予算届

▼評議員会議決事項

開催年月日	議決事項	備考
令和5年6月29日	1 令和4年度事業報告及び収支決算について	評議員3名全員が出席 議案について全員一致で承認

▼理事会議決事項

開催年月日	議決事項	備考
令和5年5月31日	1 令和4年度事業報告及び収支決算について 2 令和5年第1回評議員会の開催について	役員(理事+名、監事2名)の内、 理事8名出席、監事2名出席 議案について全員一致で承認
令和6年3月27日	1 令和5年度収支補正予算について 2 令和6年度事業計画及び収支予算について	役員(理事10名、監事2名)の内、 理事10名出席、監事2名出席 議案について全員一致で承認

## ▼運営委員会の開催

開催年月日	協議事項	備考
令和5年7月6日	・令和6～令和10年度の運営方針について(1)	
令和5年9月29日	・令和6～令和10年度の運営方針について(2) ・企画展とプラネタリウム番組5か年計画について ・科学館ウィーク☆2022(案)について ・プラネタリウム100周年事業について	
令和5年12月1日	・令和6年度吉田科学館事業計画(案)について(1)	
令和6年2月28日	・令和6年度吉田科学館事業計画(案)について(2)	